

立教大学経済学部 2014年度スタディサポートプログラム 実施報告

キャリア教育運営委員会

I. 実施概要

実施目的 : 1. 新入生が、高校までの学び方と大学での学び方の違いを知り、大学での学びに期待と意欲を持つ
2. 新入生が、経済学部の先輩の姿を見て、自分の将来像のイメージをつかむ
3. 新入生の緊張を和らげ、友達作りのサポートをする

実施日時 : 2014年4月2日(水) 9:00~11:00

実施場所 : 8号館(8101、8201、8202)、14号館(D201、D301、D401、D501)

実施主体 : スタディサポートプログラム実行委員会 ※新2~3年生の学生スタッフ40名で構成

実施対象 : 新1年生 約700名

実施内容 : スタッフミーティング(7回)、ウェルカムカード作成、当日プログラム運営、反省会

昨年度からの変更点:①各チームオリジナル「ウェルカムカード」の作成、配布

②オープニング~歓迎の言葉、経済学とは?のスライド・プレゼン方法の自由度アップ

II. プログラム内容

TIME	LAP	進行
8:00	0:40	会場準備
8:40	0:20	開場、新入生誘導
9:00		開始
9:00	0:04	オープニング
9:00	0:01	はじめの挨拶
9:01	0:02	趣旨説明
9:03	0:01	本日の流れ
9:04	0:04	1. 歓迎の言葉
9:04	0:02	スタッフ紹介
9:06	0:02	歓迎の言葉
9:08	0:30	2. グループづくり
9:08	0:10	グループづくり
9:18	0:02	名前シール配布
9:20	0:07	自己紹介
9:27	0:11	アイスブレイク
9:38	0:49	3. 指示出しワーク
9:38	0:02	【1回目】リーダー決め
9:40	0:05	【1回目】リーダー召集、資料配布(会場外) 【1回目】ルール説明(会場内)
9:45	0:15	【1回目】ワーク <15分>
10:00	0:01	【1回目】回答
10:01	0:02	【2回目】リーダー決め
10:03	0:05	【2回目】リーダー召集、資料配布(会場外) 【2回目】ルール説明(会場内)
10:08	0:10	【2回目】ワーク <10分>
10:18	0:01	【2回目】回答
10:19	0:03	振り返り
10:22	0:03	発表
10:25	0:02	振り返り 解説
10:27	0:15	「大学での学び」を楽しむポイント
10:27	0:10	ワークを通じて伝えたかったことを解説 ・目標を持って学習に取り組むことの重要性 ・経済学の魅力や面白さ
10:37	0:05	感想共有
10:42	0:18	エンディング
10:42	0:02	締めのメッセージ
10:44	0:01	連絡事項
10:45	0:10	アンケート
10:55	0:05	予備時間
11:00		終了
11:00	12:00	撤収

各チーム
オリジナル

各チーム
オリジナル

※指示出しワーク

【狙い】

2回のワークを通じて、同様のことを行うにしても目的が明確か不明確かで、自分のやる気や行動が変わるということを参加者に実感させます。

【ワーク内容】

5~6人でグループをつくり、グループ内で決めたりーダー1人がその他のメンバーに指示を出して、メッセージを解説します。同様のワークを2回行います。

1回目は、メンバーは何のために指示をされているのかわからない状態で行います。ワーク時間終了後、回答のメッセージを解説し、メンバーはワークの目的や取り組み方を理解します。

次に2回目を行います。メンバーは目的や取り組み方がわかっているので、1回目よりも短時間で、より複雑なメッセージを解説することができます。

1回目と2回目の違いについて振り返り、目的が明確か不明確かで自分のやる気や行動が違っていたことを実感します。

※「大学での学び」を楽しむポイント

指示出しワークを通じて実感したことは大学での学びにおいても同じで、自分なりに学ぶ目的を明確にしたり、学びにおける目標を持って学習に取り組むことで、学ぶ意欲や学習への取り組み方が変わり、より良い大学生活が送れるということを新入生に伝えます。

また、経済学部で学ぶ学問は経済学であるため、経済学の魅力や面白さを伝え、新入生の経済学を学びたいという気持ちを高めます。

Ⅲ. 実施結果(新入生)

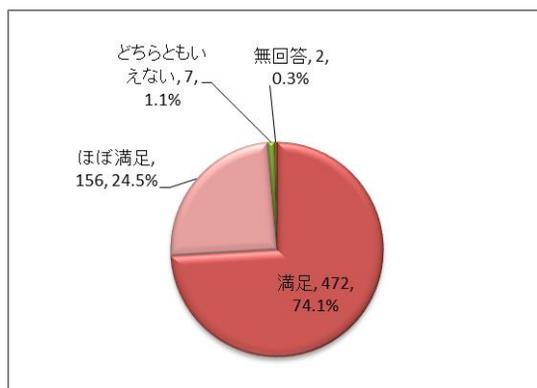
(1)参加状況

学科	会場	学生番号	入学者数	アンケート回収枚数	推定参加率
経済	A (8号館8101教室)	14BA001～14BA120	309名	302枚	97.7%
	B (8号館8201教室)	14BA121～14BA240			
	C (8号館8202教室)	14BA241～			
経済政策	D (14号館D201)	14BD001～14BD120	179名	168枚	93.8%
	E (14号館D301)	14BD121～			
会計ファイナンス	F (14号館D401)	14BC001～14BC120	168名	167枚	99.4%
	G (14号館D501)	14BC121～			
3学科合計			656名	637枚	97.1%

(2)アンケート結果 (7会場合計)

①プログラム全体に対する満足度

選択肢	人数	割合
満足	472	74.1%
ほぼ満足	156	24.5%
どちらともいえない	7	1.1%
やや不満	0	0.0%
不満	0	0.0%
無回答	2	0.3%
合計	637	100.0%



「満足」「ほぼ満足」の主な理由

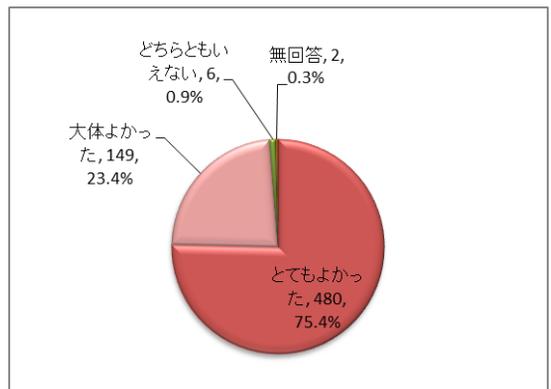
- ・ 堅苦しくなく楽しい雰囲気だった
- ・ ゲーム形式のグループワークがおもしろかった
- ・ 初対面の人と話げできた、新しい友達げできた
- ・ 経済学について知ることができた、興味を持った
- ・ 先輩の話げ役に立った、不安げ軽減された

「どちらともいえない」の理由

- ・ 途中参加だから…。
- ・ 遅れてしまったのでよくわからなかった。
- ・ もう少し寝たかった。
- ・ 6人は少し少ないと感じました。友達作りであればもう少し多くてもよかったです。

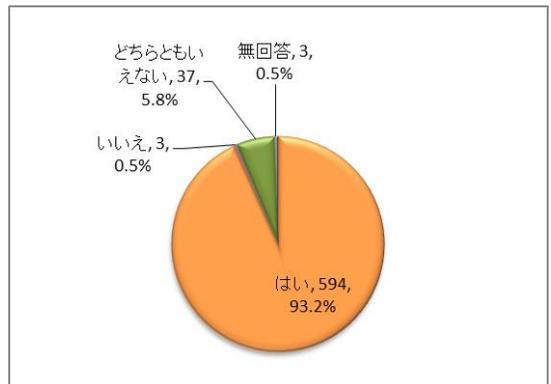
②プログラムの内容に対する印象

選択肢	人数	割合
とてもよかった	480	75.4%
大体よかった	149	23.4%
どちらともいえない	6	0.9%
あまりよくなかった	0	0.0%
よくなかった	0	0.0%
無回答	2	0.3%
合計	637	100.0%



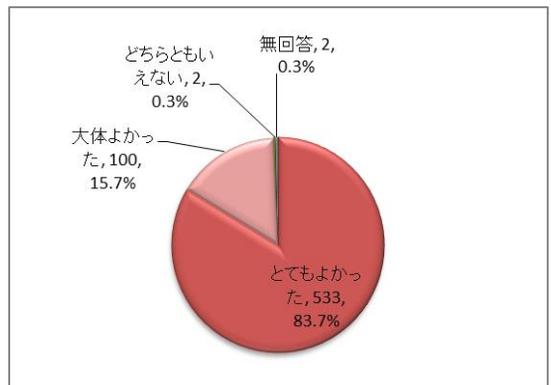
③これからの経済学部での学びが楽しみになったか

選択肢	人数	割合
はい	594	93.2%
いいえ	3	0.5%
どちらともいえない	37	5.8%
無回答	3	0.5%
合計	637	100.0%



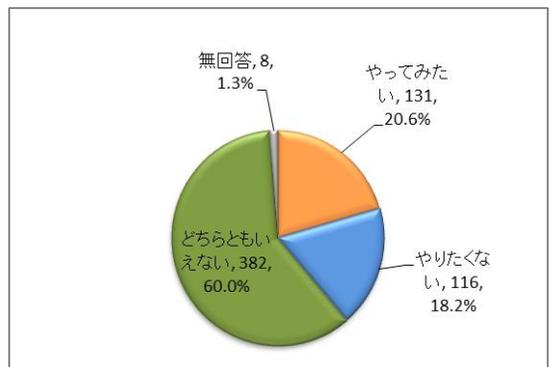
④スタッフによるプログラムの運営の印象

選択肢	人数	割合
とてもよかった	533	83.7%
大体よかった	100	15.7%
どちらともいえない	2	0.3%
あまりよくなかった	0	0.0%
よくなかった	0	0.0%
無回答	2	0.3%
合計	637	100.0%



⑤来年、先輩としてスタッフをやりたいか

選択肢	人数	割合
やってみたい	131	20.6%
やりたくない	116	18.2%
どちらともいえない	382	60.0%
無回答	8	1.3%
合計	637	100.0%



⑥プログラムを通して得たこと、気づきや学び

目標を持つことの重要性

- ・ 自分はまだ大学で何をしたいか決まっていないので明確な目標を決め、4年間に充実させたい。
- ・ 目的・目標を持って、ダラダラ時間を過ごさないように自分で考えていくことの大切さが分かった。
- ・ 目標を持って大学生を送りたいと思うようになった。
- ・ 少しでも早く自分の夢を見つけ、それに向かって打ち込める大学生活を過ごしたい。
- ・ 大学生活で目標を持つことの大切さに気づくことができた。早く目標を見つけられるようがんばります。
- ・ 目標を持って行動すると積極的に取り組めることが分かったので、早くやりたいことを見つけようと思った。
- ・ 自分のやりたいことや目標を明確にして、目標に向かって勉強したいと思った。
- ・ 明確な目標を持ち、それに向かって前進していきたい。4年後に実現してみせる！！

積極的に物事に取り組むことの大切さ

- ・ 大学生活では何でも積極的にいこうと思いました。
- ・ 自分から行動するというのが大事であることを改めて確認させられました。
- ・ 大学では自分のやりたいことにどんどんチャレンジしようと思いました。
- ・ サークル、勉強、遊びなど様々な所に重点を置いて能動的に行動したいです。
- ・ きちんとした目的を持って、自主的に取り組むことが大切だと思いました。
- ・ とにかく自分の好きなことを見つけて、一生懸命取り組んでみようと思った。
- ・ 好きなことを見つけて積極的に頑張っていきたい。
- ・ 大学はこれまでの学校とは少し異なり、自分から動かなくてはならないということが分かった。

経済学の面白さや経済学を学ぶ意味の理解

- ・ 経済学がとても広い学問だと分かりました。今後の勉強が楽しみです。
- ・ 経済学が色々な場面で使えると知り、楽しみになった。
- ・ 経済学という学問がカバーする範囲が非常に広いことがわかった。
- ・ 経済の勉強は生活に役立つことが分かった。
- ・ 経済学についてのぼんやりしたイメージが少しはっきりした。
- ・ 経済学は具体的に何をやるのか実感がわいていなかったのですが、先輩方のお話を聞くことで視野が広がりました。
- ・ 経済学は私たちの生活に密接に関係している！

大学における望ましい学ぶ姿勢

- ・ 勉強するにあたって難しく考えすぎずに楽しく学ぶことが大切だと思いました。
- ・ 大学での勉強は何でもやってみることが大事だと気づいた。
- ・ しっかりと自主的に勉強しなければならないなと思いました。
- ・ ただ単に授業を受け流すだけでなく、自分のモノに出来るようにする。
- ・ 先輩方が経済学含め大学からたくさんのことを学んでいると気付きました。後に関することができるようになりたいと思います。

他者と協力することの大切さ

- ・ 皆で意見を共有し合ったりすることの大切さを知りました。
- ・ グループの中で協力することの大事さを改めて学ぶことができた。
- ・ みんなで協力することの大切さ。

様々な他者が存在すること

- ・ 色々な人がいると思った。視野が広がった。
- ・ 中学、高校とは違い、様々な人が居ることが分かった。友達をもっと作りたいです。
- ・ 地方からの下宿の人もいることに気づいた。

その他

- ・ 大学でのコミュニケーションの取り方が少し分かった気がしました。
- ・ これからの大学生活に不安を感じていたけど、グループで話したりもできて楽しみになったし、前向きな気持ちになった。
- ・ みんな自分と同じくらい、まだ何もわかってないな—と思いました！
- ・ 学部間以外の授業も履修できるので積極的にとろうと思った。
- ・ 文武両道頑張り、早慶コンプレックスを無くす。

IV. 実施結果(学生スタッフ)

(1) アンケート結果

① チーム別自己評価点

チーム	学生スタッフ数	自己評価点	理由
A	6名	120点	いい意味で全体の緊張をほぐせた
B	5名	90点	10点はこれからの可能性サ!
C	5名	70点	前日準備までがひどかった(集まりの悪さやみんなの意識)。当日はスムーズでよかった。
D	6名	95.015点	
E	6名	86点	ゆかつんさんに頼りすぎた。
F	6名	80点	運悪くフリーズしたから完璧ではない。
G	6名	90点 90点 90点 99点	・全体的にはスムーズだったし、楽しそうに1年生がしていたのでよかったです!! ・よかったけど完璧ではない気がしたので。(残り10点は来年への反省) ・少し気がかりなところがあったので・・・90点!! ・自分的には100点なのですが、完璧ということはないので99点にしました!

② 学生スタッフを経験したことで得たこと、学びや気づき

コミュニケーション能力等の向上

- ・ コミュニケーション力が身についた。
- ・ 新入生とのコミュニケーションに余裕が出来た。
- ・ 年下の人にどうしたらわかりやすく伝わるかたくさん考えた。当たり前だと思っていることも、当たり前ではないように思った。
- ・ 相手の気持ちになって物事を考えるようになり、客観的に物事を捉えられるようになった。今後もこのような機会があればぜひ参加していきたいと思った。
- ・ チーム運営力、発表する力、発見力など。
- ・ 人前で話すことの恐怖感が減った。
- ・ 前で話すのは苦手ですが、なんとかスムーズに話せて自信になりました。
- ・ 人前で話すことに慣れました。
- ・ 人前で話すことに抵抗感がなくなった。
- ・ 企画を考える力、人前で話す力等、普段ではあまり身に付けることのできない力を得ることができた。
- ・ 人前で話すことに対してためらいが減った。

プログラムの企画や運営をする経験、醍醐味

- ・ ただ自分が楽しむというだけではなく、楽しませるということを考えることで、とても成長したと思う。
- ・ 楽しめたことが1番よかったです。あと、人前で何かを運営することは面白いと感じました。
- ・ 新入生の立場に立つことをひたすら考えて運営したので、着眼点がおもしろく、発想の幅が広がったと思う。
- ・ 1つのチームとして活動できたのが良かった。
- ・ 学生スタッフは新入生に上から物を言うのではなく、もてなすということが大事であり、初めての経験ができた。
- ・ まわりの様子をよく見ながら引き込むことができる先輩を見ていて、一緒に運営しながらも多く学べました。

先輩としての自覚、スタッフとしての責任感

- ・ 人に任せてはいけない、という意識をもって取り組むことで、自己の責任能力が少しは向上したと思う。
- ・ 意識の変化。去年と違って上級生としての参加だったので必然的に自分から動くことが増えた。というか動かなきゃ回らなかった。上級生になったなーという実感。
- ・ 責任感。後輩との関わり方、接し方。相手(新入生)の気持ちになって考える。
- ・ 初めてバイトみたいなことをしたので、金をもらうんだから責任をもって仕事をしようという意識を持ちました。
- ・ 先輩としての心構えができ、新歓にも役立った。

人をまとめる経験

- ・ 人をまとめる大変さを改めて感じた。改めて自分の足りない部分を知ることができ、改善に努めることができた。
- ・ 人をまとめる経験がなかったため、今後同じようなシチュエーションになったとき活かせると思う。
- ・ 新入生をまとめること! 立教大学経済学部の先輩として自信をもってプログラム進行をすることができました。

大学での学び・経済学への意識向上

- スライドの自由度もあって、スライドの変更をかなりする中で、自分なりに「経済学って何か？」みたいなものと向き合うことができた。この中で試行錯誤できた。
- 自分が経済学部にいる意義を再確認できた。

積極性、やる気の向上

- 皆でちゃんと準備をして企画をして司会をしてっていう経験が初めてだったので、今回の経験を生かして今後人前で話したり発表することがあったら積極的に参加していきたいと思います。
- 根本的に1年生の頃に希望に満ちあふれていたころを思い出して、これからがんばろうと思った。